

旭区ボランティアセンターだより

旭区ボランティアセンターでは、ボランティアを必要としている人とボランティア活動をしたい人をつなげたり、ボランティアに関するさまざまな相談や情報提供を行ったりしています。

ボランティア活動の相談の流れ

ボランティア活動してみたい→受付・面談→活動紹介
→ボランティア保険の加入→振り返り・次回の活動紹介



今年度ボランティア登録をしたHさん（女性・60代）にお話を伺いました。

Q 現在どのような活動をしていますか

A. ひとり暮らし高齢者宅の草むしり・室内清掃などのちょこっとボランティア（不定期）や電話傾聴ボランティアを月2回しています。

Q ボランティアを始めようとしたきっかけは何ですか

A. 一人暮らしの高齢者や家族に頼れない人が誰かの手助けを必要としていると感じ、微力ながら地域の一員としてお手伝いしたいと思いました。

Q 実際に活動してみているいかがですか

A. どんな人が依頼者なのか、依頼内容はどんな事か、とはじめは不安だらけでしたが、心配不要でした。「ありがとうございました」の一言で気持ちが休まり、無事終わったことで自己満足しています。やってよかったと感じます。

Q これから活動しようと思う方に一言お願いします

A. 恥ずかしい気持ちや不安を持っている方でも勇気を持って行動してみてください。普段の生活では味わえない感動があると思います。

「ボランティアに興味がある!」「何かやってみたいけれど、自分に合う活動って何だろう?」という方や、「ボランティアにお願いしたい」という方は、お気軽にボランティアセンターにご相談ください。



ご相談・お問い合わせは 旭区ボランティアセンター

受付時間: 月～土の9時～17時（祝日・年末年始を除く）

TEL: 045-392-1133 FAX: 045-392-0222 Email: asavora@ceres.ocn.ne.jp



善意銀行に寄付いただいた方々

ありがとうございました。〈順不同・敬称略〉令和4年6月～8月

（金品寄付）佐々木 祥／サークルそらまめ／二宮 瑳枝子
株式会社 清光社／特定非営利活動法人
ワーカーズ・コレクティブ みらい／匿名1件

（物品寄付）旭ジャズまつり実行委員会／
神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部



善意銀行とは、皆様からの善意の寄付金品をお預かりし、必要なところ、または希望された区内福祉施設や当事者団体、地域福祉活動団体などへ配分し、皆様の善意を広げていく事業のことです。

発行 社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会

〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰1-6-35
TEL: 045-392-1123 FAX: 045-392-0222
<https://www.palletasahi.jp/> 旭区社協

●アクセス●
相鉄線「鶴ヶ峰駅」
北口より徒歩8分



旭区社協だより

No. 111

令和4年11月1日発行

あさひ 共に支えられ 生きていく

いきいき宣言

<https://www.palletasahi.jp/>



この広報紙は、「赤い羽根」共同募金の配分金で発行しています。

旭区社協

ちょっと気になる

ちょっと心配

～ゆるやかな見守りから始めよう～

旭区 ご近助ほっこり活動



少子高齢化が進展し、子どもの虐待、孤立、2025年問題など喫緊の社会問題が山積するなか、ご近所とのつながりはますます希薄となっています。

「ご近所さんを見守るのは大変。面倒だし、責任も重い」と感じている方、ましてや「ご近所さんの名前も知らない、話したこともない」という方も多いと思われます。

旭区社会福祉協議会では日常生活のなかで「ちょっと気になる」「ちょっと心配」という方を「お互いさま」の気持ちでそっと気にかけて、声を掛けたりするゆるやかな見守りつながりづくり「旭区 ご近助ほっこり活動」を町内会自治会・民生委員・地区社会福祉協議会などの地域住民と取り組んでいます。

特別なことはできないけれど、ご近所さんをちょっと気にかけて、挨拶をしたり、相談できたりする人を増やすことが、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる街になると考え進めています。

旭区社協の Twitter はじめました!
<http://twitter.com/asasha1123>



アカウント名は 横浜市旭区社会福祉協議会

旭区社協では令和3年10月1日よりTwitterを開始しました。各職員が身近な話題や福祉に関する情報などをつぶやいていますので、ぜひフォローしてください!



毎日の暮らしの中で、「あの家、ポストに郵便物が溜まったまま」「カーテンが数日閉まりっぱなし」「ごみ捨て場であの人を最近見かけない」「小さな子どもが夜遅くまで一人で公園で遊んでいる」など、ちょっと心配になっても、誰に相談したらいいのかわからないと悩んだことはありませんか。そのちょっとした気づきを誰かに伝えることで、地域の支えあいや必要な支援につながる可能性があります。

今号ではつながりのきっかけをご紹介します。



何に

気づけばいい?

- 視覚** 郵便物が溜まっている・ゴミが上手に分別されていない・カーテンが閉まりっぱなし・庭木が生い茂っている・回覧板がとまってしまう・最近見かけない など
- 聴覚** 毎日怒鳴り声が聞こえる・生活音がしなくなった など
- 嗅覚** ごみを放置している臭いがする など



ご近所づきあいで地域の見守り 市沢地区 市沢町南自治会

市沢町南自治会では、「自分たちの町も他人事ではない」と老人クラブのメンバーや地域に詳しい「世話焼きさん」が集まって、地図を囲みながら、「ちょっと気になる人」の情報共有の機会を設けています。その中では、「この家にお住まいのご夫婦、いつもはお二人で散歩していたけれど、最近見かけないから心配」「ここのお宅は高齢者のひとり暮らしだけど、お隣の方が気にかけてくれている」等、ご近所の住民だからこそ知っている情報を共有して、日々の見守りに活かしています。話し合われた情報は、出席者のみでの共有とし、プライバシーや個人情報の保護には留意し活動しています。

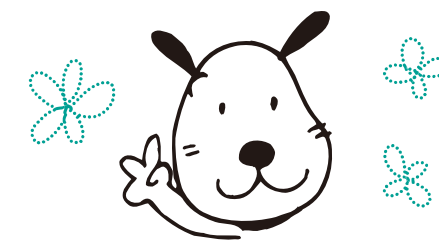


様子がわからず心配なご家庭については、参加されている皆さんがそれとなく気かけたり、ご近所の人に話を聞いたりして、変化をいち早くキャッチし、必要な支援につなげています。参加した皆さんからは「みんなで情報共有したことで、支援が必要な人が明確になり、より気にかけるようになりました。意識が変わりました」との話が聞かれました。



市沢町南自治会の皆さん

ご近所さんとは元気で仲良く暮らしていきたいという想いで、ご近所の方に変化や困りごとがないか気にかけています。



住民同士いきなり話し合うことは難しいかもしれません。まずは日常生活での気かけあいと、ちょっとした会話が地域の見守り・支えあいの第一歩となります。